

講義名	原価計算論B			授業形態	
担当教員	早川 翔	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

主題と概要

利益は、利益＝収益－原価の式で表せます。この式から、少ない原価で多くの収益を獲得することが、利益増大につながると言えます。したがって、企業にとって原価をいかに引き下げるかは重要であり、そのためには自社の原価構造を知る手段としての原価計算が必要になります。本講義では、日商簿記検定2級における工業簿記（原価計算）の範囲、特に総合原価計算に関する内容を学習します。

到達目標

- (1) 製品の製造に伴い発生する原価の種類や、個別の原価数値をどのように集計・配賦するかについて学習することで、原価計算の目的や意義が理解できるようになる。
- (2) 総合原価計算の計算方法を学習することで、製品を大量生産する場合にどのような原価計算が適用されるかが理解できるようになる。
- (3) 標準原価計算を学習することで、原価管理の方法や意義が理解できるようになる。

提出課題

毎回の講義で練習問題を実施します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

次回の授業で練習問題の解説などを行います。

評価の基準

期末試験（100%）で評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

- ・原価計算の内容は積み重ねが重要な学問なので、休むと次回以降の内容がわからなくなるります。
- ・授業では計算問題を扱うことがあるため、電卓が必要です。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

プリント資料
毎回の講義で使用します。

授業計画

15回の授業を実施したのち、期末試験を実施します。

- 第1回 原価計算とは何か
予習内容：原価計算の意義について事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第2回 単純総合原価計算1 月末仕掛品原価の計算
予習内容：仕掛品とは何かについて事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第3回 単純総合原価計算2 平均法、先入先出法
予習内容：平均法と先入先出法の違いについて事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第4回 減損および仕掛
予習内容：減損と仕掛について事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第5回 工程別総合原価計算
予習内容：工程別総合原価計算について事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第6回 組別総合原価計算
予習内容：組別総合原価計算について事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第7回 等級別総合原価計算
予習内容：等級別総合原価計算について事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第8回 前半のまとめ
予習内容：第1回から第7回までの授業資料を事前に閲覧しておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第9回 標準原価計算1 原価差異の計算
予習内容：標準原価計算について事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第10回 標準原価計算2 直接材料費差異、直接労務費差異の分析
予習内容：差異分析の意義について事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第11回 標準原価計算3 製造間接費の分析
予習内容：製造間接費の差異分析を行う意義について事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第12回 直接原価計算 CVP分析
予習内容：直接原価計算とは何かについて事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第13回 直接原価計算 固定分解
予習内容：固定分解を行う意義について事前に調べておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第14回 後半のまとめ
予習内容：第8回から第13回までのプリントを復習しておく（120分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目が定める目標(1)と(3)は、本学経営学科の共通DPに貢献する。これらの目標を達成することで、企業が製品やサービスを提供する上で発生する原価の種類や、原価管理の方法について知ることができる。このような知識は、企業でシステムに関する問題探索、課題提案に役立つ。また、目標(1)～(3)は会計コースのDPにも貢献する。目標(1)と(2)の達成により、DPで提示されている企業の財政状態、経営成績を分析する上での初步的な知識を身につけることができる。また、目標(3)の達成により、DPで提示されている企業が直面する問題や企業の強みを見出した経営戦略の構築に対して貢献できるからである。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考